

Schaさんに学ぶ

ドイツ風手作りケージ

の作り方



野生のハムスターは毎晩10 キロメートル走ります。

ですから、私たちのペットハムスターも運動が大好きで、ケージは広ければ広いほど、ハムスターは幸せに過ごせます。ペットショップで売っているケージのメーカーはお客様に便利な品物を作っているため、ハムスターの幸せは気にしてません。ケージが小さい方がメーカーは儲かるのです。

自分で大きなケージを作るのは簡単なので、ぜひ、作ってみましょう。

完成図例



ケージのサイズは横幅120cm、奥行50cm、高さ60cmです。

このケージは矢印の亚克力板を持ち上げて、正面から開けることができます。

用意するもの

1. 電動ドリル
2. ネジ（細めのもの）
3. 鉛筆
4. 定規
5. 木材の板 × 7 枚（木材の寸法参照）
6. 金網（バーベキューの焼き網など）
7. アクリル板（60cm × 56cm）× 2 枚
8. 水槽シリコン
9. 水性ウレタンニス
10. U プロファイル（アルミ製）
11. 木材接着剤
12. 金属用のこぎり
（アルミ製U プロファイル用）
13. アクリルカッター
14. 細い木材 × 4 本（木材の寸法参照）
15. 床材もれ防止用木材 × 2 枚（木材の寸法参照）

参考道具

6の金網は私は100円ショップで売っているバーベキューの焼き網を3枚使いました。



水槽シリコン（左）と水性ウレタンニス（右）は動物や子供に害のない物を選んでください。



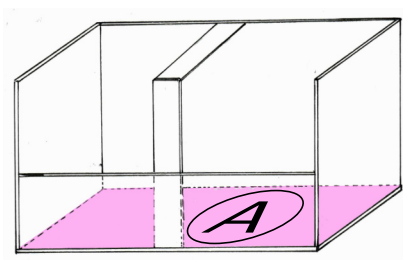
Uプロファイルはこの様にコの字になっています。長いものを60cmに切ります。



アクリルカッターはアクリル板の微調整の時に使用します。

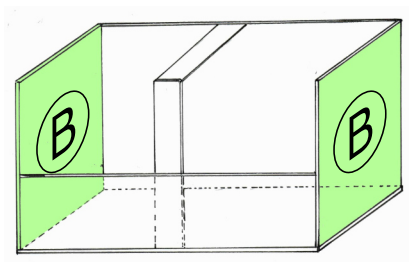
木材の寸法

このケージはメインの構造は7枚の板が必要になります。厚さ1.8mmの板を購入時に次のように切ってもらってください。



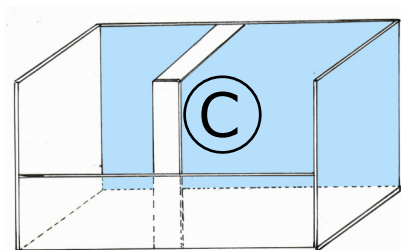
板① 縦123.6cm × 横53.6cm 1枚

壁は床の上に設置するので、床のサイズは厚みを含めた縦120cm + 1.8cm + 1.8cmと横50cm + 1.8cm + 1.8cmの計算で割り出しています。



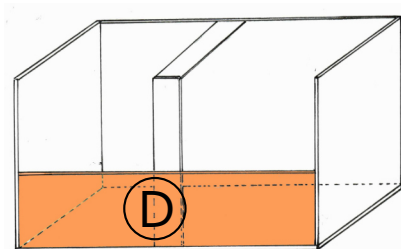
板B 縦60cm × 横53.6cm 2枚

この板は両方の壁になるため2枚必要になります。



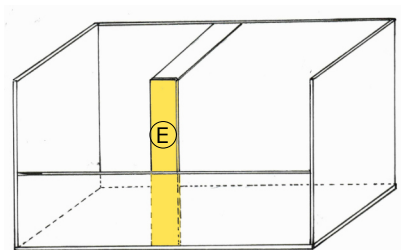
板C 縦60cm × 横120cm 1枚

背面の壁になります。

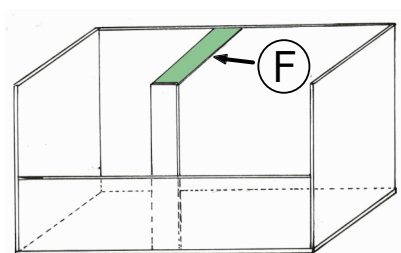


板D 縦20cm × 横120cm 1枚

ハムスターはトンネルを掘るのが大好きなので、20cmの高さの床材が敷かれる事を想定して20cmの高さにしてあります。ゴールデンハムスターの場合は30cmなどと調整して見てください。

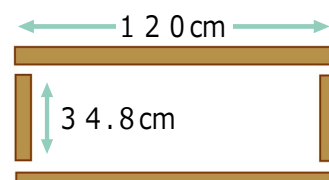


板E 縦60cm × 横7cm 1枚



板F 縦44.6cm × 横7cm 1枚

14の細い木材はケージの屋根用になります。ワンバイスリーと呼ばれる加工されたサイズの木材を120cmに切ってもらった物を2本、34.8cmに切ってもらった物2本用意します。

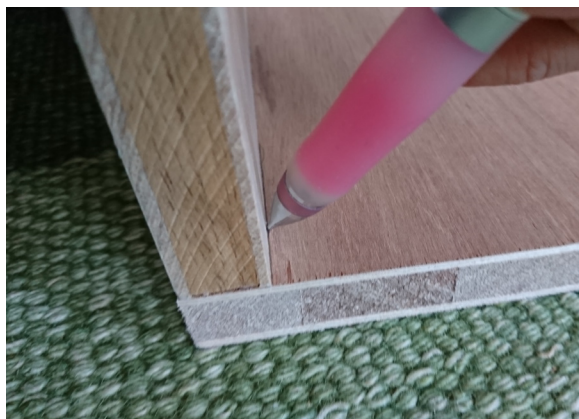


15の床もれ防止用の板は薄い木材を使います。ハムスターが齧っても体に害のない物であれば大丈夫です。これを23cm×56.5cmに切ってもらった物を2枚用意します。

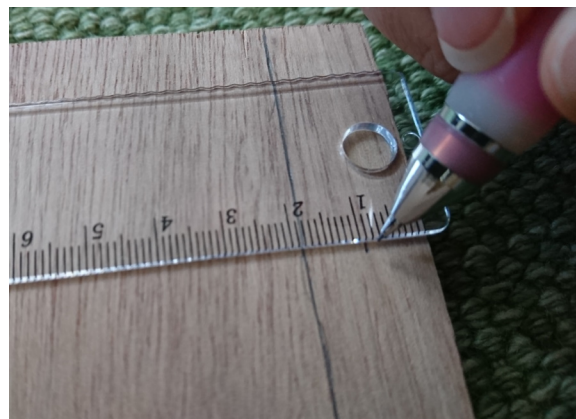
組み立て準備

組み立てには電動ドリルとネジが必要です。

まずネジ用の位置に印をつけ、電動ドリルで開けます。この穴はネジより少し小さくしてください。穴をあらかじめ開けることによって、ネジによる板割れを防ぎます。穴の位置はしっかりとマーキングしてください。全ての穴の位置がきちんと合わさらないと、接続できません。



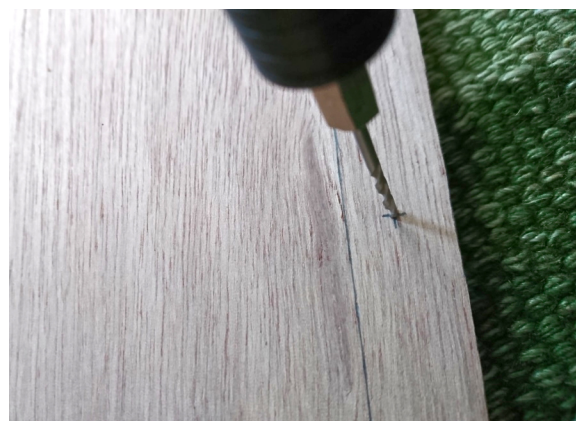
①接触する板同士の板幅を記します。



②全ての板に板幅を記したら、真ん中（9 mmあたり）に電動ドリルで開ける穴の印を15 cm～20 cm間隔でつけていきます。



③板幅の面にも同じ間隔で正確に印を書いています。



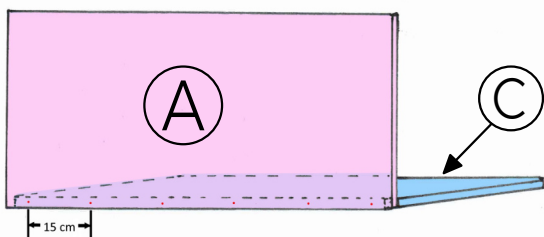
④全てに印を入れたら電動ドリルで穴を開けていきます。

注意

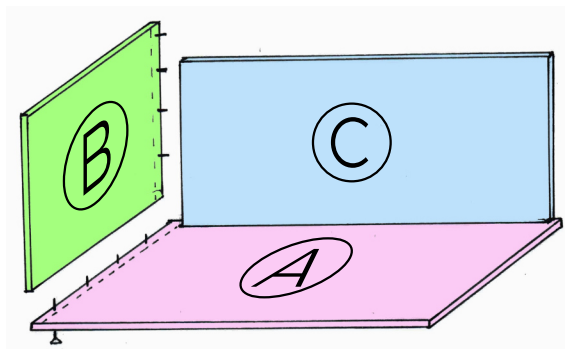


角はネジがぶつからないように注意して印をつけてください。

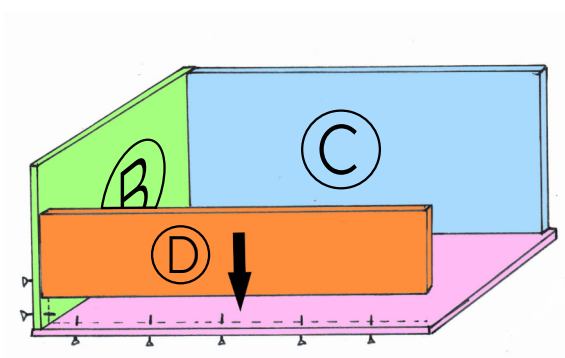
組み立て手順



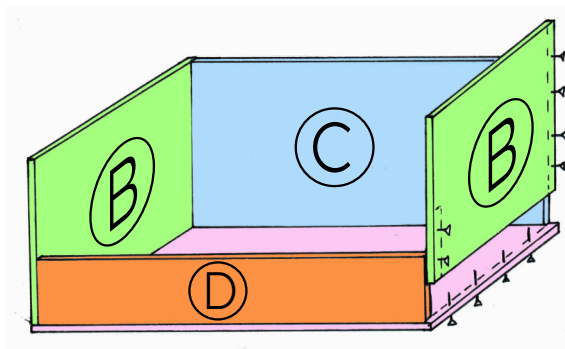
- ①背面になる板を③を下にし、横から床板①を図のようにネジで接合します。この時、板①の両側に両側②の板が後で入るスペースがあることをしっかり確認してください。



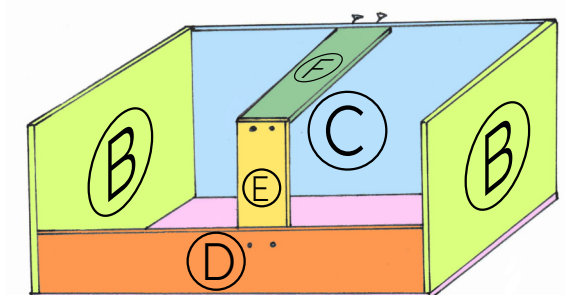
- ②次に左壁板②を接合します。②は二面とつながるので、ネジ穴の位置をしっかりと確認しましょう。



- ③次に正面の板④を床板①と左側面②に接合します。手順②と同じ要領で穴の位置を確認して行ってください。



- ④次は右側面②を接合します。今度は三面が合わさることになるので、さらに注意してネジで留めてください。



- ⑤中央板⑤を先に接合して、最後に上につながる⑥を接合して、ケージの骨組みの完成になります。

アクリルドアの付け方



正面のアクリル板は上に引っ張って取り外すことができ、ドアとしての働きもします。上から手などを入れるとハムスターもびっくりしてしまうので、このドアによって横から接することができます。



金属用のこぎりで60cmの長さに切ったUプロファイルを両壁板⑧に、正面板⑩のすぐ後ろの位置で、水槽シリコンを使い固定します。

中央の柱⑨にも両壁板⑧と平行になる位置に固定します。

アクリル板はUプロファイルの厚みのため、記載の寸法だとぴったりとはまりません。アクリルカッターを使って適当なサイズに微調整をしてください。



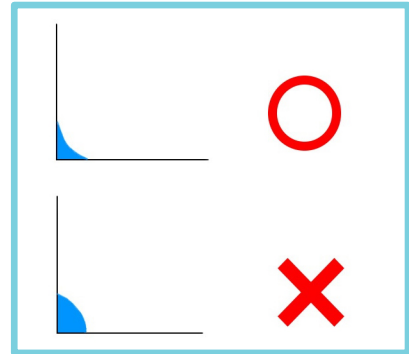
この2枚のアクリル板は床まで届くようにデザインされています。このケージは深さ20cmの床材を想定してデザインしてあるため、アクリル板を持ち上げると床材が下に入り込んでしまいます。これを防ぐために床もれ防止用の板をUプロファイルを挟むようにして、内側に水槽シリコンで固定し、アクリル板と床材を分けています。

おしっこからケージを守る

木材をハムスターのおしっこから守るため、防水加工として水性ウレタンニスを塗ります。水性で、手作りの子供のおもちゃに適している製品は安全だと思います。水性ウレタンニスはケージの中に3回塗ります。さらに、木材の板の継ぎ目には水槽シリコンを塗ります。

水槽シリコンはハムスターに齧られないように、へこまして塗ります。（右図参照）

注）ハムメディアではさらなるハムスターへの安全を考え、ハムスターが触れる場所でニスやシリコンがむき出しの場所はダンボールで覆うことをお勧めします。



蓋の作り方

最後はケージの蓋です。14の細い木材4本と金網を使います。

ホームセンターであらかじめ切ってもらった木材を、木材接着剤かネジで接続して、その上に金網を付けます。



お掃除について

大きなケージですが、掃除は簡単です。たいていハムスターは同じの所でおしっこします。そのトイレの所だけ頻繁に掃除する必要があります。そして、年に2回大掃除します。大掃除の時に全部の床材を交換すると、ハムスターにストレスをかけるので、半分を交換します。ですから、年に一度右側を交換して、六か月後に左側を交換します。

ハムメディアでは衛生面に配慮し、1ヶ月毎か2週間に一度半分ずつにするとより清潔に保てるかと思っています。